

## ～名古屋学芸大学看護学部ボランティアサークル mean a lot 初年度活動報告書～

### 《発足経緯》

#### ・2024年2月3日(土) 愛知こどもホスピスプロジェクトの勉強会

本学部全学生に対し、この勉強会の会場設営や受付業務のボランティア募集があった。ボランティア活動および勉強会には、本学の1~3年生7名が参加した。小児がん患児・家族、また遺族に対するケア・生活支援の必要性、子どものためのホスピス設立の意義などを学ぶことができた。愛知こどもホスピスプロジェクトの活動内容の中に、レモネードスタンドというものがあった。愛知こどもホスピスプロジェクトのレモネードスタンドは、「一定額の寄付金を下さった方にお礼としてレモネードをお渡しする」「準備費用などの諸費用を除いた金額を全て、愛知こどもホスピス設立のための費用とする」という活動であった。小児がんケアの現状と愛知こどもホスピスプロジェクトの活動を知ったことを機に、看護学生としての知識や経験を活かして私たちにもできることがあるのではないかと感じ、ボランティアサークルを発足することに決めた。

### 《発足メンバーおよびサークル申請》

勉強会に参加していた学生と顧問の小幡さつき先生とともに、2024年4月からサークル活動を開始することを目標とし、サークルの規約を作成し、3月に「団体結成届」等の申請書類を大学へ提出した。

### 【サークル申請およびメンバー募集】

2月中旬～2月末：サークル名、活動目的、活動内容についての打ち合わせ開始

#### ●サークル名「mean a lot」

「ボランティアをしてあげているという感覚ではなく、ボランティア実施者と対象者が相互に想いをやりとりする中でそれぞれの意味を見出してほしい」、「人が繋がることにたくさんの意味が存在している」という気持ちを込めた。柔らかい雰囲気伝えるために、あえて小文字で設定した。

## ●活動目的

活動目的は、看護学生の知識や経験を強みとして、子どもを笑顔にするために活動していくこととした。看護の対象は全ての人であるため、病気を抱えている子どもだけでなく、成長発達にある子どもなど、全ての子どもを対象とした。ボランティア活動を通して、家族や子どもを支援している人とも笑顔で過ごせたらと考えた。

## ●活動内容

子どもに関するボランティア活動、ペットボトルキャップ回収、募金活動、啓蒙活動、病院や施設訪問でのイベント開催、装飾品や玩具製作、きょうだい児の看護体験など

2月末～3月7日：申請書類作成&提出(団体結成届、規約、年間計画)※別紙1参照

3月中旬：メンバー募集ポスター作成&学内エレベーター付近に掲載

3月25日：履修ガイダンス(対象；新2～4年)にて、メンバー募集

## 《2024年度 活動内容》

大学より承認が得られ、2024年4月よりボランティアサークル mean a lot の活動を開始する。

### 【活動歴】

4月8日：新入生オリエンテーションにて、サークル紹介とメンバー募集

4月15日：mean a lot 初集会

- ・ 役員の紹介、サークル活動の目的の説明、親睦を深めるための交流会



4月20日：愛知子どもホスピスプロジェクト1周年シンポジウム

- ・ 場所：イオンモール Nagoya Noritake Garden 3F イオンホール
- ・ 主催者：愛知子どもホスピスプロジェクト
- ・ 参加者：2名
- ・ 内容：会場準備、  
受付業務、  
会場片付け、  
シンポジウムへの参加等



## 4月29日：mean a lot の Instagram 開設・運営開始

・アカウント： mean.a.lot\_nuas

・目的・活用理由：

実際にボランティア活動をしている自分たちの姿と想いを形に残すことで、ボランティア依頼者からの信用性が高まると考えた。DM 機能を用いて依頼者とメッセージのやり取りもできるため、相互にアポイントメントを取りやすくなる。現代において SNS の運営は、情報発信・拡散に有効的であるとされている。SNS の利用が多い学生からの発信力・拡散力はサークルにおいても強みであると考え、Instagram を開設、運営している。実際に、フォロワー数・DM からの依頼件数ともに増えているため、Instagram の開設は有効的であると感じている。

Instagram 投稿したページの掲載



## 5月11日・12日：ロータリーフードフェスティバル(レモネードスタンド)

- ・ブース主催者：愛知子どもホスピスプロジェクト
- ・参加者：計 27 名
- ・内容：レモネードスタンドのサポート、愛知ホスピスプロジェクトの啓蒙活動等

192本、212本、合計404本のレモネードをお渡しすることができた。癌サバイバーの方や子ども食堂を運営している方とお話しする機会もあり、有意義な時間となった。「過去最高の本数をお渡しすることができた。学生の宣伝力や行動力があつたから本当にありがたい」と言ってもらえて、自分たちの想いや行動が人とのつながりを深め、少しでも力添えできたことはとても良い経験となった。

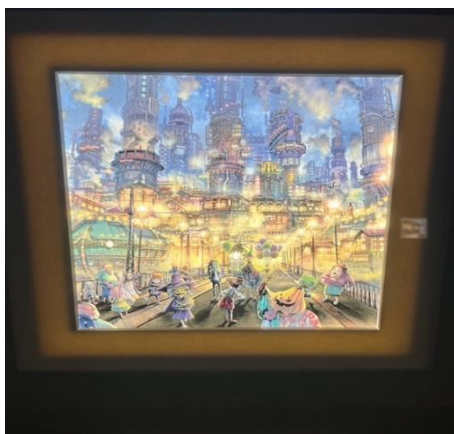


## 5月17日：光る絵本展プエルバスイベント

- ・主催者：愛知子どもホスピスプロジェクト
- ・場所：独立行政法人名古屋医療センター 5階講堂
- ・参加者：6名中
- ・内容：イベントブースの準備、片付けなど

入院という制限のある生活をしている子どもたちにとって、少しでも笑顔になれたらという想いに賛同し、非日常的空間の提供のお手伝いできてよかった。

また、中京大学の芦塚先生と学生さんと一緒にお手伝いしたことをとおして、多くの人の協力のもとで子どもたちの笑顔に繋がると感じた一日だった。



## 5月24日：取材依頼のためのインタビュー

- ・ 広報参与名古屋外国語大学特任教授 野川眞一郎先生からのインタビュー

野川先生から、活動発足の経緯、活動目的・趣旨・方針などについての取材を受けた後、メディア向けの取材依頼書を作成いただいた。送付先は、中日新聞、NHK 名古屋放送局、東海テレビ、CBC、名古屋テレビ、テレビ愛知。

## 5月27日：アイシティ eco プロジェクトコンタクト空きケース回収ボックス設置

2階に大きいボックスを、5階エレベーター付近に小さいボックスを設置。リサイクル事業への協力、障がい者の自立支援、アイバンクへの募金につなげるという目的がある。大学生にはコンタクト使用者が多いことを強みとして考え、長期的に取り組むボランティア活動の一つとして実施している。

## 6月6日：mean a lot 定例会および中日新聞取材

- ・ 担当グループ編成、6/9 のレモネード準備、各グループ打ち合わせ

→レモネード、コンタクト・ペットボトル回収、広報、外部ボランティア

- ・ 中日新聞取材・写真撮影

- ・ 記者：片岡典子さん

活動発足の経緯、活動目的・趣旨・方針、活動に対する想いや考えについて取材を受けた。現在の課題としては、活動の場を広げていくことであるため、多くの方に本サークルのことを知っていただける機会となってよかった。初のメディア取り上げとなり、Instagram のフォロワー数や連絡件数も増加し、大学外から注目いただけるきっかけとなった。

## 6月8日：中日新聞掲載(県内版名古屋朝刊)

# 名古屋学芸大看護学部生がボランティアサークル

## 専門生かし、子どもを笑顔に



活動で使うポロシャツを手にする大橋さん(左から2人目)や八木さん(同3人目)らサークルのメンバー＝名古屋市中区で

名古屋学芸大の看護学部(名古屋市中区)に、ボランティアサークル「mean a lot(ミーン・ア・ロット)」が発足した。東海地方で初となる「こどもホスピス」の開設を目指す市内のNPO法人の活動に協力する。他の活動の場も模索しており、看護学生の持つ専門性を生かし「子どもたちを笑顔にしたい」と意気込む。(片岡典子)

サークルには看護学部の約50人が参加。6日夕、初めての全体の顔合わせで、サークル長の4年大橋なつ子さん(21)が「皆で補い合って活動していこう」と呼びかけた。グループに分かれて、今後の活動方針などを話し合った。

### ホスピス開設に協力・病院イベントも検討

で、同NPOは県内での開設を目指している。勉強会終了後、この活動に共感した大橋さんが「自分たちでもできるのでは」と声を上げ、周囲の学生たちが賛同。SNS(交流サイト)などを使ってメンバーを集めた。副サークル長の4年八木春菜さん(21)は「思った以上に入ってくる子どもが多くてびっくりした」と話す。

現在同NPOの活動の補助が中心。今月9日には同NPOが同市昭和区の鶴舞公園で実施する「レモネードスタンド」の活動に参加し、病气や障害のある子どもや家族を支援するための資金集めに協力する。ほかに障害者支援のため、使い捨てコンタクトレンズの空きケースのリサイクル活動にも参加している。

今後は連携できる病院があれば、イベントの企画や院内の飾り付けのボランティアなども検討。子どもに関わるボランティア活動ができる場を探している。大橋さんと八木さんは「病气や健康だけでなく、子どもの発達も学んでいる看護学生の強みを生かして活動していきたい」と意気込む。(同大看護学部＝052(9)5(4)12222(土日、祝日を除く))

6月上旬：ペットボトルキャップ回収ボックス設置 ※6/11 Instagram に掲載

3階の自販機隣に設置。





## 6月9日：全国一斉レモネードスタンド&シャボン玉リリース

夕方、中京テレビとNHKで放送された。

- ・企画者：パークレモネード
- ・場所：鶴舞公園
- ・主催者：愛知子どもホスピスプロジェクト
- ・参加者：14名
- ・内容：募金活動、レモネードスタンド&シャボン玉リリース

天気予報は雨であったものの、約350人もの方が来てくださった。予定した本数は昼前になくなったため在庫を追加したものの、14時の時点で337本を完売。14時からのシャボン玉リリースでは、直前まで強かった雨が上がり、シャボン玉に想いを乗せて、お空に届けることができた。レモンのカードにメッセージや絵を添えてレモンの木を制作。元気な子どもたちも、闘病中の子どもたちも、闘病中の子どもたちの親御さんや子どもを亡くされた方も、私たち学生も、それぞれが関わり合うことで素敵な、楽しい時間を過ごすことができた。初めて直接的に子どもと関わる機会となり、サークルの目的である「子どもを笑顔にする」ということにやりがいを感じることができた1日であった。当日の様子が中京テレビ・NHKにて放送された。





7月13日：特定非営利活動法人にこまる事前見学&打ち合わせ



7月18日：大学広報局からサークル紹介の依頼・アンケート提出

7月27日：東海ラジオ Weekend Step の収録 <https://www.tokairadio.co.jp/step/>

・内容：インタビュー収録（8/3./10./24./31 放送）

活動発足の経緯、活動目的・趣旨・方針などについてお話しする。初のラジオ出演となった。自分たちの想いを、自分たちの声で届けることができ良かった。

8月3日：東海ラジオ Weekend Step 放送日①

8月7日：特定非営利活動法人にこまるでの活動①

・参加者：1名

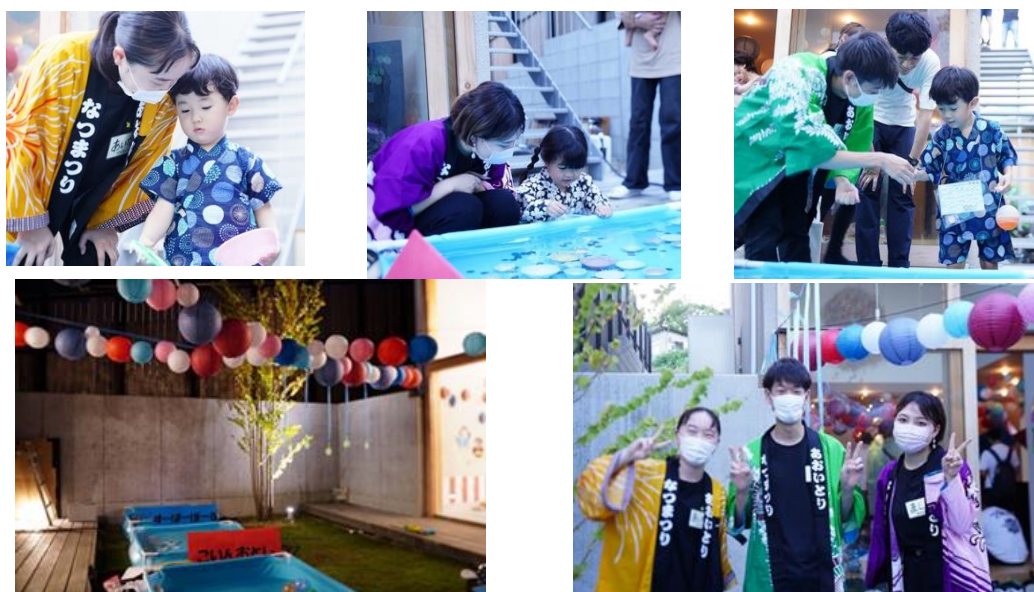
・内容：子どもたちと制作活動、コミュニケーション

8月10日：東海ラジオ Weekend Step 放送日②

## 8月17日：あおいとり療育園なつまつり

- ・主催者：あおいとり療育園
- ・参加者：3名
- ・内容：夏祭りブースの設営手伝い、片付け等

年に一度開催されている夏祭りで、地域のお祭りに参加することが難しい子どもたちのイベントである。あおいとり療育園は、名古屋市認可の児童発達支援施設であり、0～6歳の発達の遅れがある子どもたちが通っている。施設の方からは「他大学の学生もいたけれど、暑い中、外の屋台の担当を積極的に引き受けてくださり、名古屋学芸大学の学生さんの人柄に感激しました。」とお褒めの言葉をいただくことができて、とてもよかった。ボランティアを必要としていた方々に、参加してくれた学生が、自分たちの姿勢や行動で想いを示してくれたことは、今後の活も良い影響を与えることにつながると感じている。



## 8月21日：特定非営利活動法人にこまるでの活動②

- ・参加者：1名
- ・内容：医療的ケア児の食事介助、医療的ケアの見学

**8月22日：特定非営利活動法人にこまるでの活動③**

- ・参加者：2名
- ・内容：子どもたちと制作活動、コミュニケーション

**8月24日：東海ラジオ Weekend Step 放送日③**

**8月29日：特定非営利活動法人にこまるでの活動④**

- ・参加者：2名
- ・内容：子どもたちと制作活動、コミュニケーション

**8月31日：東海ラジオ Weekend Step 放送日④**

9月1日：すくすく地方会 ※台風の影響により中止

**9月6日：株式会社 musbun との会議**

**9月11日：子ども食堂ボランティアについて打ち合わせ**

**9月23日：mean a lot 定例会**

- ・役員の交代、担当グループ編成
- ・企画運営：子ども食堂、金シャチフェスタでの活動に向けての打ち合わせ

**【新体制】**

- ・役員＋コアにサークル運営に携わってくれる人で、企画運営する。
- ・それ以外のメンバーは、マンパワーとしてボランティア活動に参加する。

**【主な活動内容】**

① レモネードスタンド

活動内容：11/6の金シャチフェスタに向けて準備

② 子ども食堂・にこまる

活動内容：後期は子ども食堂の手伝い、ゲームやクイズの企画

③ コンタクト・ペットボトル

活動内容：ペットボトルキャップ、コンタクト空ケースの回収